

## ● 作業・被ばく状況に係るデータフォーマット

(留意事項)

- ・ 下表の左欄の項目について、1人の対象期間ごとに各項目をコンマで区切って1行のデータとすること。
- ・ 入力に当たっては、備考欄の事項に留意すること。

提出フォーマット	備考
<p>元請企業, 問合せ先企業, 氏名のフリガナ, 氏名, 生年月日, 性別(男・女), 個人番号, 中央登録番号, 緊急作業従事前の被ばく線量, 郵便番号, 住所, 電話番号, 緊急作業時の所属事業場の名称, 緊急作業時の所属事業場の所在地, 電話番号, 現在の所属事業場の名称, 現在の所属事業場の所在地, 電話番号,</p> <p>対象期間(○年○月分), 当月従事開始日, 外部被ばく実効線量(mSv), 眼の水晶体の等価線量(mSv), 皮膚の等価線量(mSv),</p> <p>預託線量(mSv), 測定日, 摂取日, 核種, 計測値(Bq又はcpm), 核種, 計測値(Bq又はcpm), 核種, 計測値(Bq又はcpm),</p> <p>通常・指定緊急作業の区別(通常・指定緊急), 作業の場所, 作業の内容, 安定ヨウ素剤の使用状況, 備考</p>	<p>(個人識別情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の場合、氏名欄は、漢字表記を持たない外国人の場合はローマ字表記で記載し、住所欄には、現住所のほか、母国における住所及び国籍を記入すること。</li> <li>・ 生年月日:年は西暦で記載すること。</li> <li>・ 個人番号:東電が発行した作業員証の番号</li> <li>・ 緊急作業従事前の被ばく線量:不明な場合は、放射線管理手帳の中央登録番号を記載すること。</li> <li>・ 緊急作業時の所属事業場の名称、緊急作業時の所属事業場の所在地、電話番号、現在の所属事業場の名称、現在の所属事業場の所在地、電話番号は、前回の報告から変更があった場合に記入すること。</li> <li>・ 現在の所属事業場がない場合は、現在の所属事業場の名称に「なし」と書くこと。</li> </ul> <p>(対象月分累積線量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急作業に従事している間は1月ごとに1回、通常の放射線業務に従事している間は3月ごとに1回、それぞれの期間の累積線量を報告すること。</li> <li>・ 年は西暦で記載すること。</li> <li>・ 被ばく線量は、報告時点の暫定値で差し支えなく、確定作業等により変更があった場合は、次回報告時に修正報告を行うこと。暫定値の場合は備考欄に暫定と記載して報告すること</li> </ul> <p>(内部被ばく測定結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計測値(Bq又はcpm):単位を記載すること。(Bq又はcpmは数値の後に付け、半角とすること。)</li> </ul> <p>(作業の場所・作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業の場所:通常作業の場合も記載すること。東電福島第一原子力発電所での放射線業務(通常作業を含む)は当該施設名称を記載すること。</li> <li>・ 作業の内容:指定緊急作業の場合に記載。 報告対象者が従事した作業に関して、原子力事業者又は元方事業者が所轄労働基準監督署に提出した「緊急作業における放射線作業届」を提出し</li> </ul>

	<p>ている場合は、その届出日、作業件名、受付番号を記載すること。</p> <p>作業届が提出されていない場合、元方・関係請負人にあつては、元方事業場の名称、原子力事業者からの発注件名、関係請負が請け負った工事の名称を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>安定ヨウ素剤の使用状況:安定ヨウ素剤を服用していた場合はその期間を、服用がなかった場合は「なし」と記載すること。</li></ul>
--	---

## ● 日々の被ばく線量に係るデータフォーマット

(留意事項)

- ・ 下表の左欄の項目について、1人1回の測定ごとに各項目をコンマで区切って1行のデータとすること。
- ・ 入力に当たっては、備考欄の事項に留意すること。

提出フォーマット	備考
元請企業, 問合せ先企業, 氏名のフリガナ, 氏名, 生年月日, 個人番号, 中央登録番号, 測定開始日時, 測定終了日時, 外部被ばく実効線量 (mSv), 測定位置 (胸、首、手)	(個人識別情報) ・ 個人番号: 東電が発行した作業員証の番号 測定開始時間が不明の場合は当該時刻は「0:00:00」とし、測定終了時間が不明の場合は当該時刻を「23:59:59」と記載すること。  (外部被ばく線量) ・ 緊急作業に従事している場合は1月の間の日々の線量を、通常の放射線作業に従事している場合は3月の間の日々の線量を提出すること。 ・ 一回の被ばく線量測定ごとに一行の記録とすること。 ・ 測定位置(胸、首、手等)が複数ある場合は、それぞれで作成すること。